

アクリエひめじを 大解剖<よく 見て、 作り方や 材料を 調べること>

9月に、 姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」が 開きました。 アクリエひめじは 姫路駅から 近く、 便利な 場所に あります。 たくさんの人が 集まり、 楽しむことが できる 場所です。 アクリエひめじは “未来へ 続く、 新しい 創造<新しいものを 初めて 作ること>の かけ橋<橋>となる 場所に” という 意味です。

ホール

ホールは、 大ホール・中ホール・小ホールの 3つ あります。 エレベーターを 使うと、 車イスの人のための 客席へ 簡単に 行くことができます。 出演者にとっても 観客にとっても やさしい ホールです。

大ホールは 3階まで あります。 客席は 2,010席あります。 播磨地域で 一番 大きな ホールです。 壁は レンガが 使われています。 レンガは 低い 音も 跳ね返すからです。 壁には 庇<窓や ドアの 上にある 小さな 屋根>が 付いています。 庇は 音を ホールの 真ん中へ 返します。 だから、 どの席で 聞いても、 同じように 音を楽しむことができます。

天井には 色々な 大きさの ライトが あります。 まるで 星が たくさん ある 空のようです。 11月に ウィーンフィルハーモニー管弦楽

姫路市からの お知らせ (やさしい日本語)

団の コンサートや、 12月に 「オペラ千姫」を する 予定です。

中ホールには 客席が 693席 あります。 壁に レンガが 使われています。 大ホールと 違う 方法で レンガを 置いています。 だから、大ホールと 違う 迫力<力強い、 迫ってくる 感じ>が あります。

小ホールには 客席が 164席 あります。 壁に 白い レンガが 使われています。

アクリエひめじの 隣は 電車や 病院です。 だから、 防音・遮音<外の音が 部屋に 入ったり、 部屋の音が 外に 聞こえたり しないようにすること>に 気を付けました。 耐震<地震のときに 壊れないように すること>にも 気を付けました。 客席は 少し 固いです。 だから、 長い 時間 座っても 疲れません。

アクリエひめじは 音の 響き<音や 声が まわりに 広がって 伝わること>を 大切にしました。 大ホールでは、 今まで 姫路で できなかった コンサートや 舞台も できるようになりました。 楽しみですね。

会議室

アクリエひめじには、 会議室も あります。 会議室は 4階に あります。 大・中・小の 大きさを、 全部で 10個の 部屋が あります。 大会議室を 3つ 合わせると、 700人 入ることができます。 会議室の 廊下の 壁の 一部は ボルト(※)が 出ています。 まるで、 姫路城の 門の 扉のようです。

(※) ボルト<ねじ>



てんじじょう 展示場

柱がない、とても広い部屋です。仕切り<区切るもの>を使って部屋の大きさを変えることができます。外に広場があります。展示場と一緒に使うととても広い会場になります。

スタジオは6つあります。バレエの練習ができるスタジオや、音が部屋の外に出ないスタジオもあります。楽器や劇や踊りの練習ができます。楽器を借りることもできます。(全部の楽器ではありません。) ぜひ、試してください。

アクリエひめじは子どもと一緒に行くことができます。1階に赤ちゃんの世話をするための場所があります。キッズコーナー<子どもが遊ぶことができる場所>もあります。キッズコーナーは兵庫県の木を使っています。子どもがけがをしないように、床はビニールシートです。キッズコーナーの近くにカフェ<喫茶店>があります。カフェで休むことができます。食事をすることもできます。

アクリエひめじにはいろいろな施設や役割<役目・しなければならぬ仕事>があります。アクリエひめじで姫路のいいところをたくさんの人に知ってほしいです。姫路をにぎやかなところにしたいです。アクリエひめじをたくさんの人が集まって、人や新

ひめじしからの お知らせ (やさしい日本語)

しい ものと 会う 場所にしたいです。

ぶんか 文化コンベンション すすしんしつ 推進室 : 221-2064

アクリエひめじ : 263-8082